2026年（令和8年）
9月14日
No.1712
毎週月曜日発行（第5週は除く）
発行人：加覧光次郎
年間購読料 22,000円（税込）

リフォーム産業新聞
The Japan Journal of Remodeling

発行所：㈱リフォーム産業新聞社
亀岡大郎取材班グループ
本社：104-0061
東京都中央区銀座8-12-15
全国燃料会館ビル7F
TEL:03（6260）4824 FAX:03（6260）6945
暮らしをよくする、専門メディア

業務標準化

商談の場で外装の完成図を作成

建築特化型AI

安心計画　画像生成、商談解析、集客ツール作成など幅広い業務に対応

▶「フォトリアル画像」では内装画像に人物の追加や家具のテイスト変更ができる

タノモシカ

- 営業、設計、広報、経営と幅広い業務に使える
- プロンプトの入力いらずで簡単に操作できる

事業推進本部営業部
橋村省吾氏

AIやデジタル技術を活用し、提案や契約などの業務を標準化するサービスが続々とリフォーム業界に登場している。外装リフォームの完成イメージ図の作成や、約款の読み上げを自動化することで、誰が担当しても一定の品質で対応できるようになる。

チラシ投稿の作成も

安心計画（福岡県福岡市）が展開する建築特化型AI「タノモシカ」は、あらゆる業務をサポートする。例えば、パースを入力するだけで瞬時に写真のようなリアルな画像や手書き風のパースに変換できる「画像生成」、商談音声をAIが自動で文字起こし・評価する「商談解析」、営業ロープレ、SNSの投稿やチラシなどの集客ツールの作成、経営分析などだ。「企業でAIを導入すると、プロンプトの作成が得意な人と不得意な人に分かれてしまったり、実務に落とし込めなかったりと、導入しても使いこなせないことがあります。そんな声から生まれた同サービスはプロンプトを入力する必要がなく、メニューから選ぶだけなので誰でも同じようにAIを使うことができます」（事業推進本部営業部・橋村省吾氏）

リフォーム会社の業務はこれまで、担当者の経験やスキルに依存する部分が少なくなかった。AIやデジタル技術の活用は、作業の効率化にとどまらず、業務そのものを仕組み化し、誰が担当しても一定の品質を保つための手段になりつつある。